

三中だより

令和3年7月19日(月)

大田区立大森第三中学校

校長 笛木 啓介

令和3年度第5号

大田区中央4-12-8

ふらんすへ行きたしと思へども
 ふらんすはあまりに遠し
 せめては新しき背広をきて
 きままなる旅にいでてみん。
 汽車が山道をゆくとき
 みづいろの窓によりかかりて
 われひとりうれしきことをおもはむ
 五月の朝のしののめ
 うら若草のもえいづる心まかせに

「旅上」という詩で、作者は「萩原朔太郎」といい、大正時代から昭和初期にかけて活躍した詩人です。「ふらんす」に行きたいと思ってもとても遠いので、せめて汽車に乗って山へ旅に出かけよう。きっと「みづいろ」の窓の外には、緑あふれる景色が広がっているだろう、という感じでしょうか。行きたいと思ってもいけないけれど、心は自由にあちこちへと出かけられる。素敵な景色を思い浮かべることができる、読み取ってみました。自分に振り返ってみると、学校生活のこと、将来のことを考えると「本当にできるかな」と不安になってしまうことがさまざまに出てくるかもしれません。それでも、心を穏やかに保つことで、すてきな未来の姿も想像できるのです。そして、想像した未来の姿にむけて努力を積み重ねて

いくこと、これが日々を誠実に過ごしていくことにつながるように思います。

さて、授業日数が73日(1学年は72日)の1学期を終えようとしています。緊急事態宣言、まん延防止措置とつづき、コロナ渦の中でしたが、ほぼ年間計画の通り教育活動を行うことができました。ただし、それぞれの行事では、安全に配慮することでいつもとも様子が異なったり、さまざまに制限したりして進めました。それでも学校生活を送ることで、友達とふれあい、共に学び、汗を流し、笑い合い、思い出を積み重ねていきました。生徒たちは、その中で日々を着実に過ごし、それぞれに成長する時間をもつことができました。

これからも、さまざまな対応が求められていくことになるだろうと思いますが、生徒たちはそうした日常の中でも、自分がすべきことを考えて前向きにがんばってくれると思います。学校は、夏休みに入ります。この長期の休みに、たまには心と対話してみて、今の生き方や将来について考えてみることも大切でしょう。そして2学期にむけて新たなスタートがきれるようにリフレッシュしてもらいたいと思います。

地域のみなさま、保護者のみなさま1学期間の学校の教育活動へのご理解・ご協力を賜りました。本当にありがとうございました。

スクールカウンセラー出勤予定日

藤田 啓子	9/7(火)、9/14(火)、9/21(火)、9/28(火)
鳥海 真里	9/8(水)、9/15(水)
田中 典子	9/3(金)、9/10(金)、9/17(金)

※大森三中

相談室直通電話

(3773) 7831

9月の行事予定

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水
	研修会				振替なしの土曜日授業	中間考査2日目 給食あり	秋分の日	中間考査1日目 給食なし		敬老の日		新入生保護者説明会	区陸上競技選手権大会		職員会議		安全指導			生徒会選挙⑤⑥	中央委員会	専門委員会(前期最終)			東京パラリンピック閉会式				始業式

「1学期を振り返って、2学期に向けての抱負」

生徒会長

コロナウイルスが流行して1年以上が経ちました。学校全体では感染者もなく、感染対策ができてきている証だと思います。一方で、社会では感染者は増加傾向にあるので、今後も気を緩めずに過ごしましょう。

その中でも私たちは、皆で運動会を開催し、成功させることができました。生徒会では部活動対抗リレーも企画し、皆で盛り上がることができました。また、広報委員会ではリクエスト曲を募集し、定期的に給食の時間に流したり、給食委員会ではとうもろこし農家さんとのやりとりを、動画を通じて行ったりするなど、各委員会が自発的に行動していました。生徒全員で創った運動会や、学校のためにできることを探して行動している各委員会のように、生徒全員が学校全体をより良くしようとした、すばらしい1学期だったと思います。

2学期は1学期と比べて日数が多く、行事も増えてきます。そこで、私は2学期の抱負を「一味同心」としました。意味は同じ目標・目的をもって心を1つにすることです。例えば合唱コンクールではクラス全員が優勝に向けて心を一つにし、たくさんの想いをのせた1曲にします。修学旅行では安全に、全員が楽しめるように目標をもって臨みたいと思います。また、日常生活でも楽しく安全に過ごしていこうと思います。この抱負を胸に、2学期も大切に過ごしていきたいと思います。



7月8日（木曜）給食の時間に、給食の食材のトウモロコシを生産している千葉県の方とリモートで交流活動しました。

夏休みの生活について

生活指導主任

夏季休業中は、生徒が家庭や地域社会において自律的に時間を使い、豊かな体験やゆとりある生活を通して、自分を磨き、鍛えるための絶好の期間です。

しかし、新型コロナウイルス感染症対策で、人との関わり方や体験的な活動等に制約がある中、生徒が深刻な悩みを一人で抱え込んでしまうことが心配されます。

学校では、「不安や悩みを抱えたときに、身近にいる信頼できる大人に相談することの大切さ」について、指導を行っております。この夏休み、ご家庭でのコミュニケーションの充実をお図りいただき、生徒の心身の変化に目を向けていただければと思います。また、生徒に少しでも気になる様子が見られる場合は学校や相談機関に相談をお願いいたします。24時間受付の「東京都いじめ相談ホットライン」など、外部の相談機関の連絡先が記載された資料を夏休み前に生徒に配布いたします。ぜひご活用ください。学校・家庭・地域で連携し、子どもが安心して相談できる環境の構築を行っていききたいと思います。ご協力よろしくお願いたします。

SNSの扱いなど、情報モラルについてセーフティ教室などで指導を行っております。これは目に見えない部分も多いため、ご家庭でも日頃よりインターネットの使い方について話題にいただければと思います。

加えて、事故やトラブルに巻き込まれないように、外出の際には行先・目的・同行者・帰宅時間を必ず確認し、夜間の外出は極力避けるなど、防犯意識も高めていただければと思います。

また、最近では天候も変わりやすく、風水害も多く発生しています。ハザードマップや避難場所の確認など、防災についてもぜひ話し合う時間をとっていただければ幸いです。充実した夏休みを過ごし、一回り大きく成長した三中生が希望と意欲をもって2学期を迎えられることを願っています。

